



勇者

オタク

吉田Killy

— 成人向け —
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止



はは

案外
うまくいったな

だから
言ったら？

無傷で捕まえるなら
スライム毘が一番
良いんだって！



こいつが
魔物相手の戦闘しか
知らなくて
助かったぜ

まあ

こんなド田舎じゃ
相手になるのも
魔物くらいだろ

なんてったって一応
『勇者さま』だしな！



にしても…
初めて見たぜ

女勇者

ああ

俺もだ

こいつぁ…

勇者じゃなくても
高値がつくだろうな

ああ…
顔もカラダも
たまらねえ…

ぬ
ちゅ…♡

おい手は出すなよ
金塊よりも
お高い女だ

あア〜くそツ
ぶち犯してえ…

霧の森の勇者
ルルディ

ブツクサ言ってねえで
帝都に急ぐぞ！

何としても
間に合わせろ！

なあ〜
少しくらい
いいだろ？

ズリネタに
するくらいは—

勇者

神が遣わした
選ばれし人々

黄金の瞳

美しい容姿
並外れた身体能力
カリスマ性

生まれながらに
それらを備えた
特別な存在である

かつて勇者たちは
各地の守護神として
魔物と戦った

しかし
魔術や戦術が
進歩すると

次第に
勇者の存在感は
薄れていき…

今や
勇者たちは

力や権威を
誇示するための
栄冠に過ぎない

豊かで平和な帝都では
勇者は一つの文化として
消費された

中でも上流階級には
熱心な
「勇者コレクター」が
数多く存在し

彼らは希少な
コレクションを
求めて

夜な夜な
とある催しに
出かけるのだ

帝都
オペラハウスの
地下深く――

西の魔物を倒した
勇者の斧――
千二百ゴールド!!

白銀の勇者の盾
――二千ゴールド!!

古代の勇者の
絵巻物!
三千ゴールド!!

Chara notes
"勇者オークション"

わたくしの高祖父は
勇者でしたの

ですからとても
ハンサムで……

これは
東の勇者殿からの
いただき物でしてね

彼とはよく
遠乗りに……

孫が勇者の剣をと
言うものだから……

――さあ!/
いよいよ本日の目玉

皆さまもあつと
驚くことでしょう!

辺境の森に
隠れ住んでいた
美しい白豹――

女勇者です!!

なんと…!

女勇者とは
珍しい!

本物か?

息子の側女に
したいわ



!!
がッ



なんとも貴重な
少女の勇者です！

まだ男も知らず
健康に問題も
ありません！

おまけにこの
豊満なカラダ！



母さん——



そして……

ん……

↑
↓
〃
〃

わたし
母さんみたいな
立派な剣士になる！

ルルディなら
母さんよりも
強くなれるわよ

ほんと!?

ええ！
その時はこの剣を
ルルディに――

ぼや...ん...

ぼち

眩しい...

!?

ご覧ください！
この黄金の瞳を!!

これこそが
勇者の証!!

何これ...!?

どうして私
こんなところ...!?

ご安心を！
彼女の力は魔術で
抑えてあります！

勇者であっても
主人には従うのみ！

さあ、彼女を
手に入れるのは...!!

何言って...



いや…!!

1億8千!!

2億5千ゴールド!!

2億だ!!

いや3億2千!!

何なの
ここ…!!

4億!

んん!!

ん!!

6億だ!



10億!

12億5千!

動けない…!
力が入らない…っ

百億ゴールド!!

さあ?

ひや、百億…
百億ゴールドが
出ました!!
さあ他には

!!



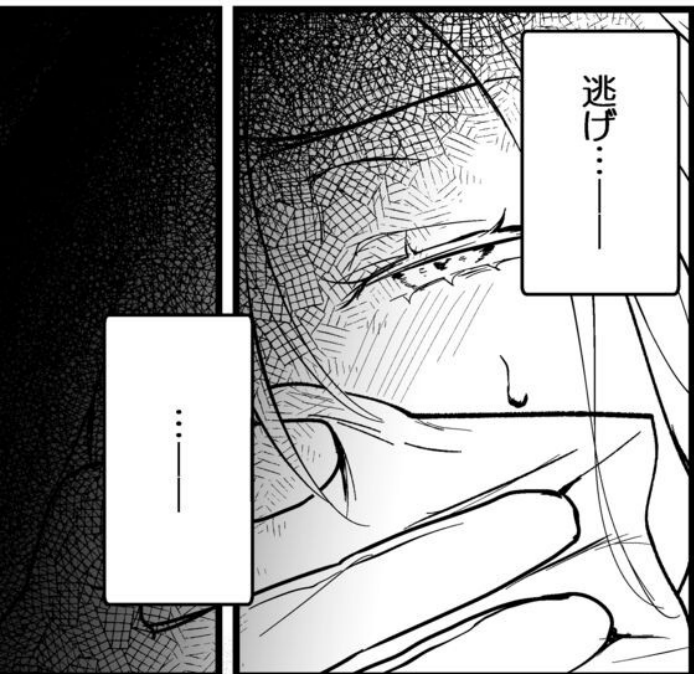
落札者は
あちらの高貴な紳士!



おめでとう
ございます!!



おーおーおー



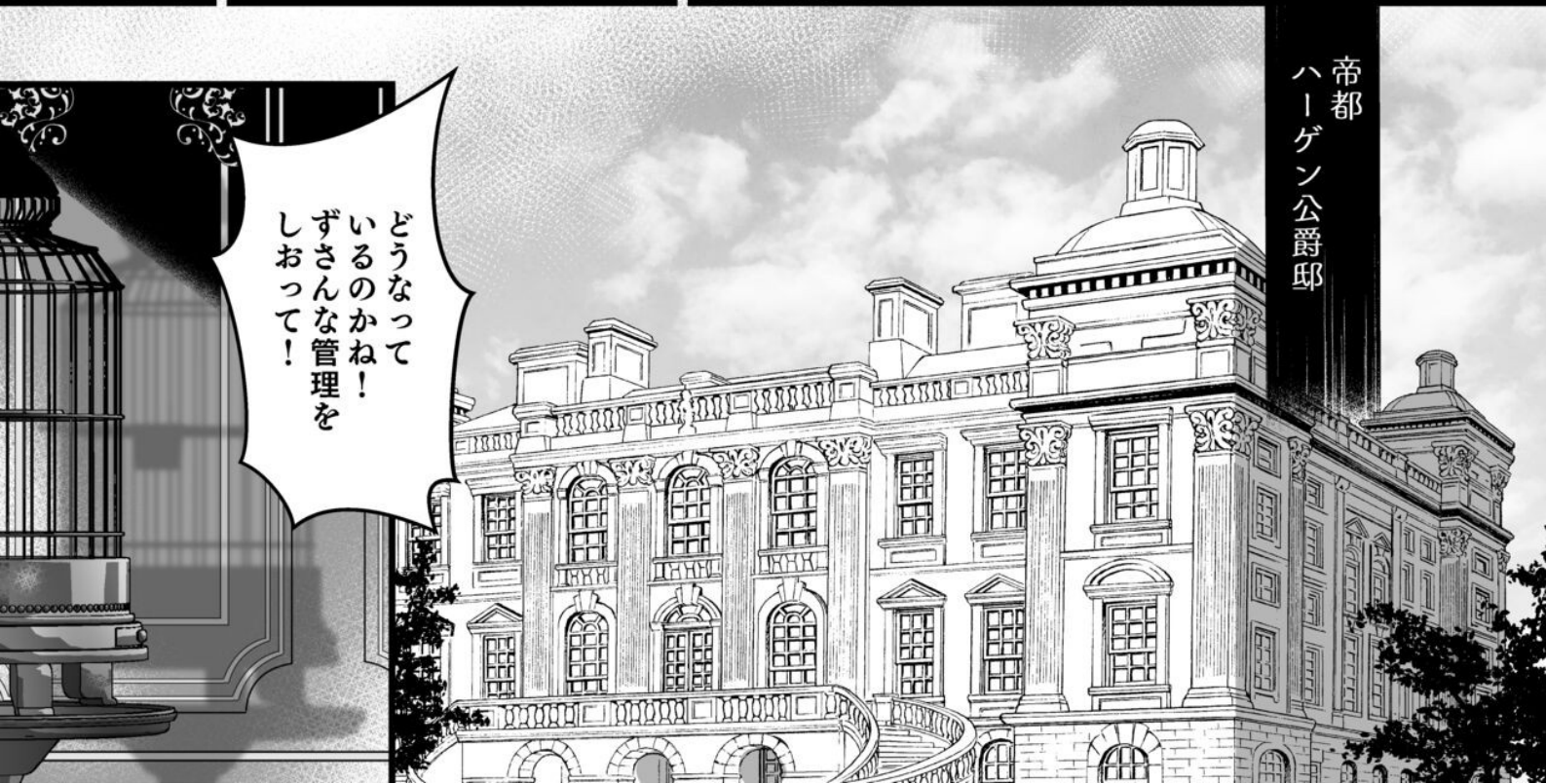
逃げ……

……



よく
わからないけど

ここから
逃げなきゃ……!!



帝都
ハーゲン公爵邸

どうなって
いるのかね!
ずさんな管理を
しておって!



申し訳ございません
公爵閣下!!

パチ
...?

どうやらこれは
輸送中にできた
傷のようでして...

純潔は守られて
いるんだろうな?

それは
勿論です!!

今すぐにでも
お確かめ
いただければ...

ここは...?

!!

目が覚めたのか

ルルデイ!

下がってよい



ルルディ…
良い名じゃないか

君の持ち物に
刻んであったよ



?
わたしの名前…
知って…?



こんな^{モノ}剣より

君にふさわしい物を
私がたくさん
買ってやろう



その剣…!!

返して…!!

おっと!

…っ!
それは…ッ



ふざけないで…!

あれは母から
受け継いだ
大切な…

まあまあ!

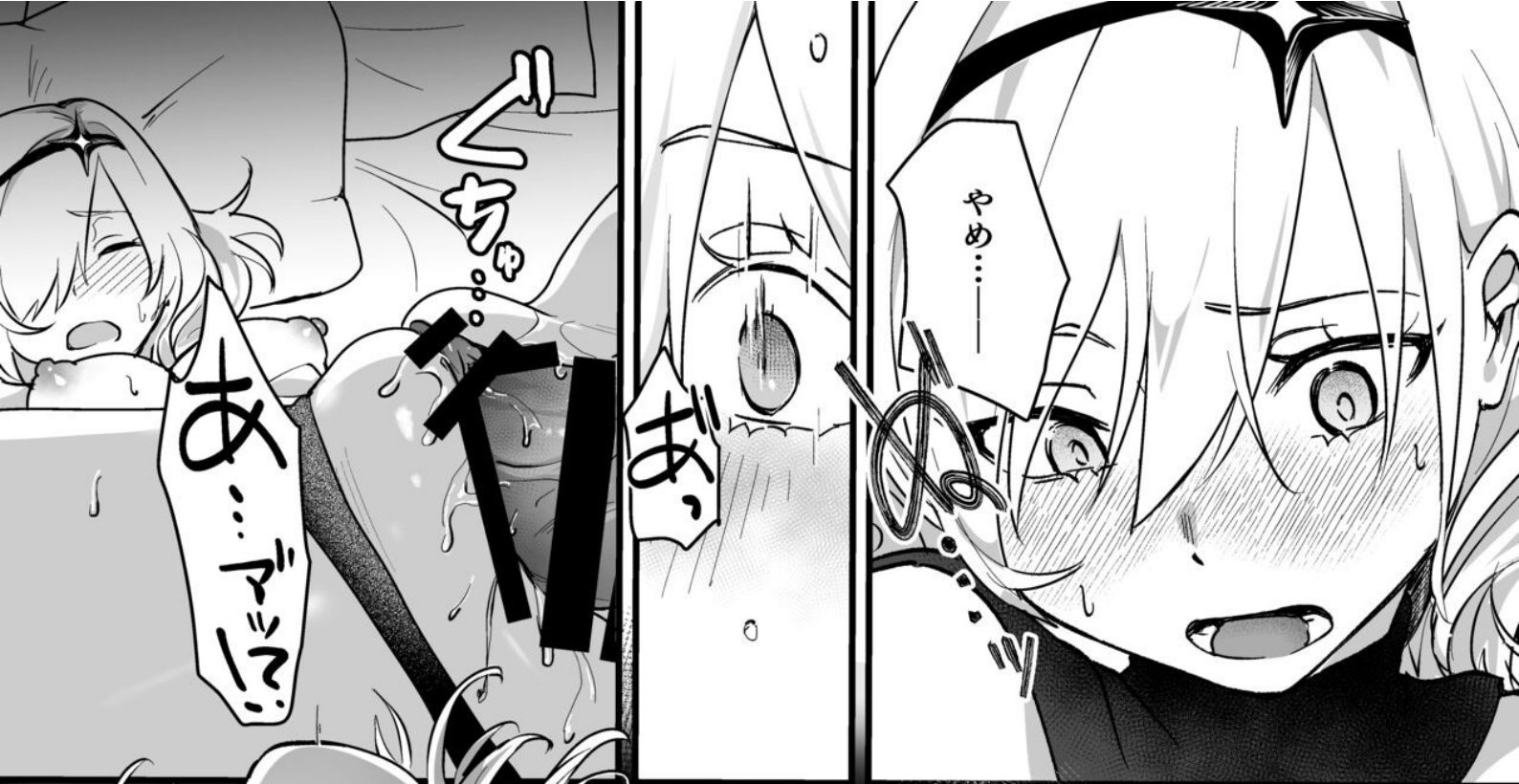
まずは暖かい物でも
飲みなさい

















もっ
はいらな…ッ

無理い…っ!!

何言ってるんだ
勇者だろう?

ひあッ!

これくらいッ

受けとめ
なさいッ



それとも...

これか?

ひあ!?

罰を与える度
ヒクヒクと
よろこびおって

っおい

情けないと
思わないのか?
え?

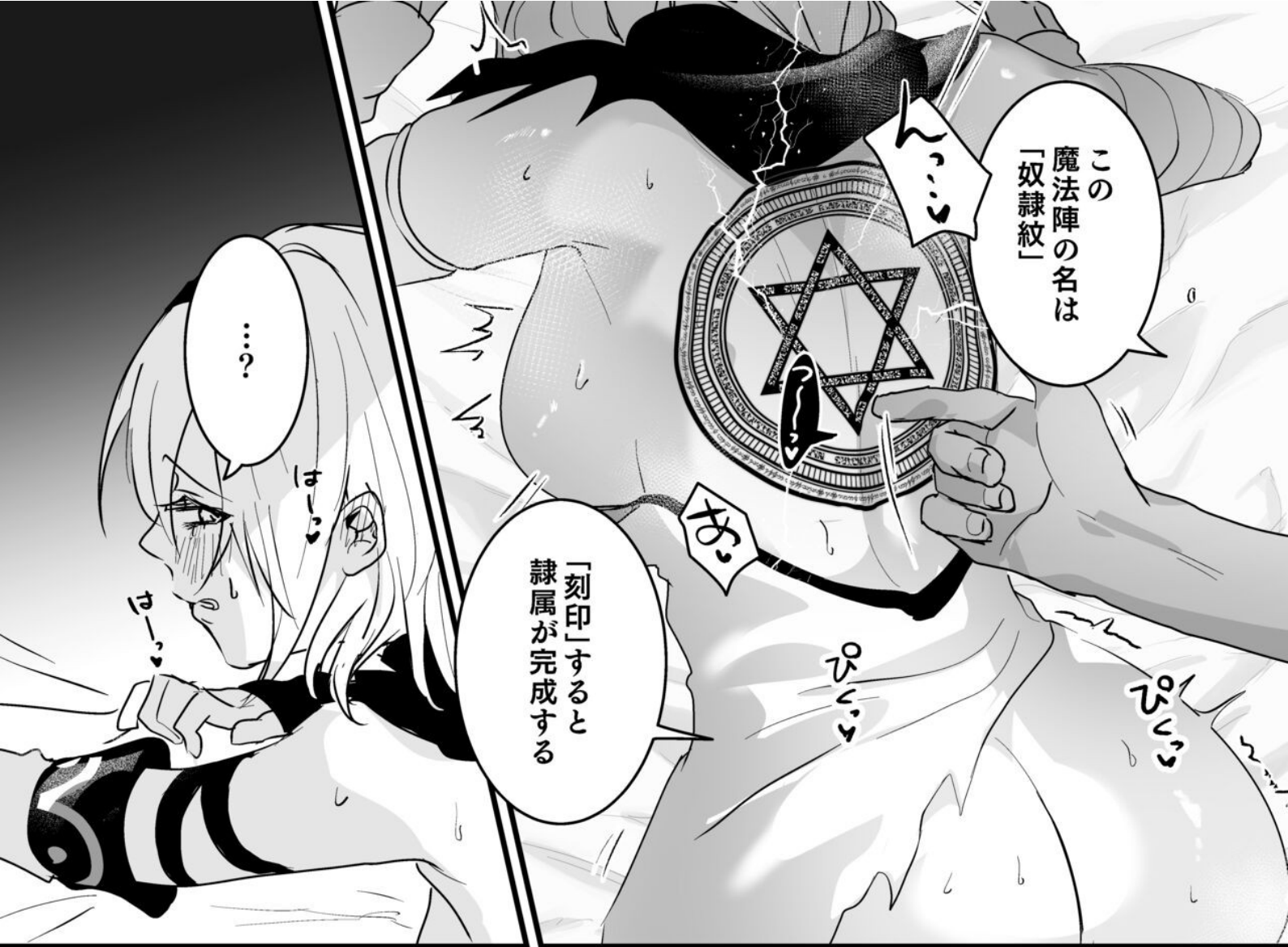
おっ...

ぽすゅ

おっ...

おっ...

...だが
気に入ってくれて
良かったよ



この
魔法陣の名は
「奴隷紋」

んっ

あ

「刻印」とすると
隷属が完成する

…？

はっ

はっ



刻印には一定量の
主人の体液を
対象へ

はちゅん♡

はちゅん♡

んっ

んっ

んっ

…つまり



私の子種を
君に注げば
「刻印」は完了し

君の体は
もう二度と私に
逆らえなくなる



気位の高い
勇者の君が

どんな姿で
愉しませて
くれるのか…

考えただけで
果てそうだ…♡



そんな
ものに…ッ

私が…ッ
屈するとでも…!?



そう思うなら

精一杯
足掻いて
みせなさい

ぬ、ぬ、

んッ...

言われ...
なくとも...ッ♥



発情しきった
声が出てるぞ

んっ、んっ、
っおっ、

どうやらこれが
お気に入りかな？

ん、ん、ん、

ん、ん、ん、





こんなにキツく
締めおってッ

どういう
つもりだッ

あうい
ちがいに

じゅぽ

ぢゅぽ

ああ…くそッ
もう射精る…ッ

射精すぞ
ルルデイ…!!

?!
セク

ちんちん
ちんちん
ちんちん

ズン





ふう…

気持ち悪い

きもちい♡

もうイヤ

もつと
ほしい♡

殺してる

すき♡すき♡

いかんいかん
生娘相手に
張り切りすぎた





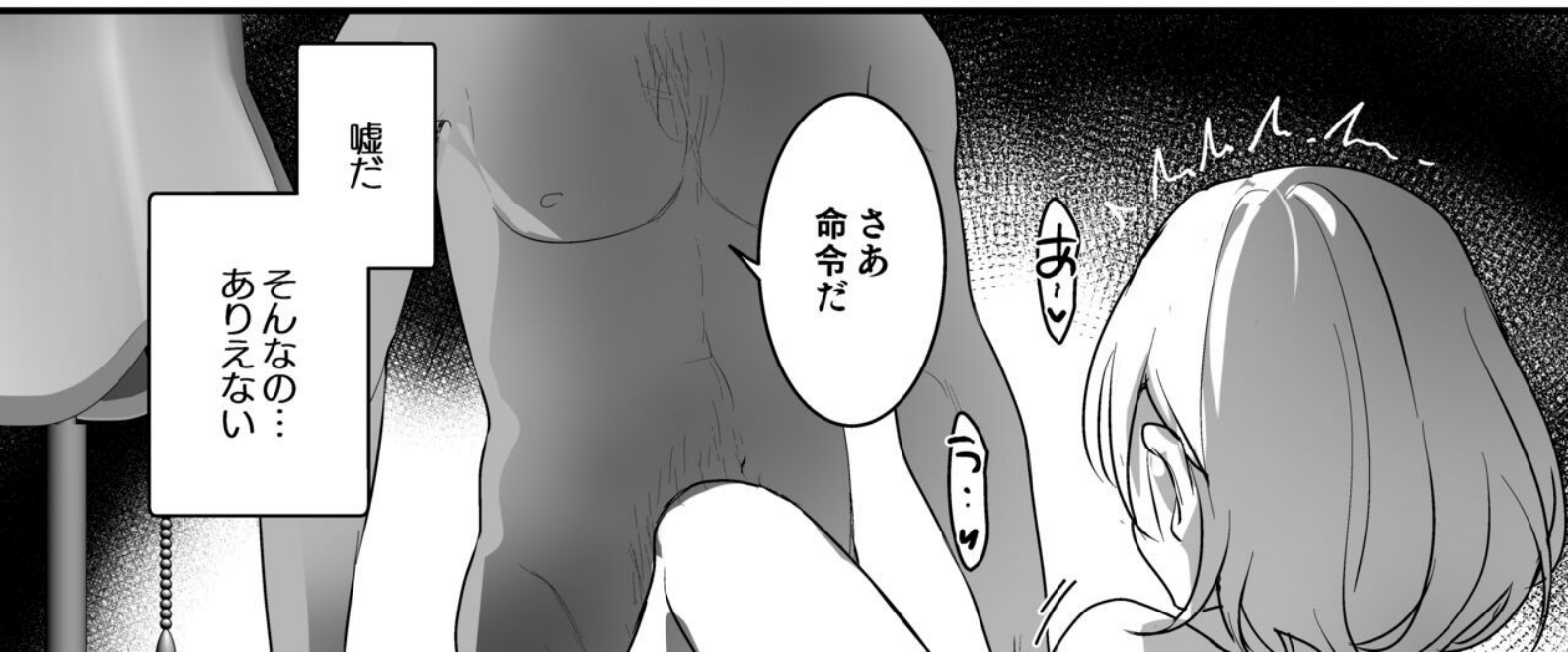
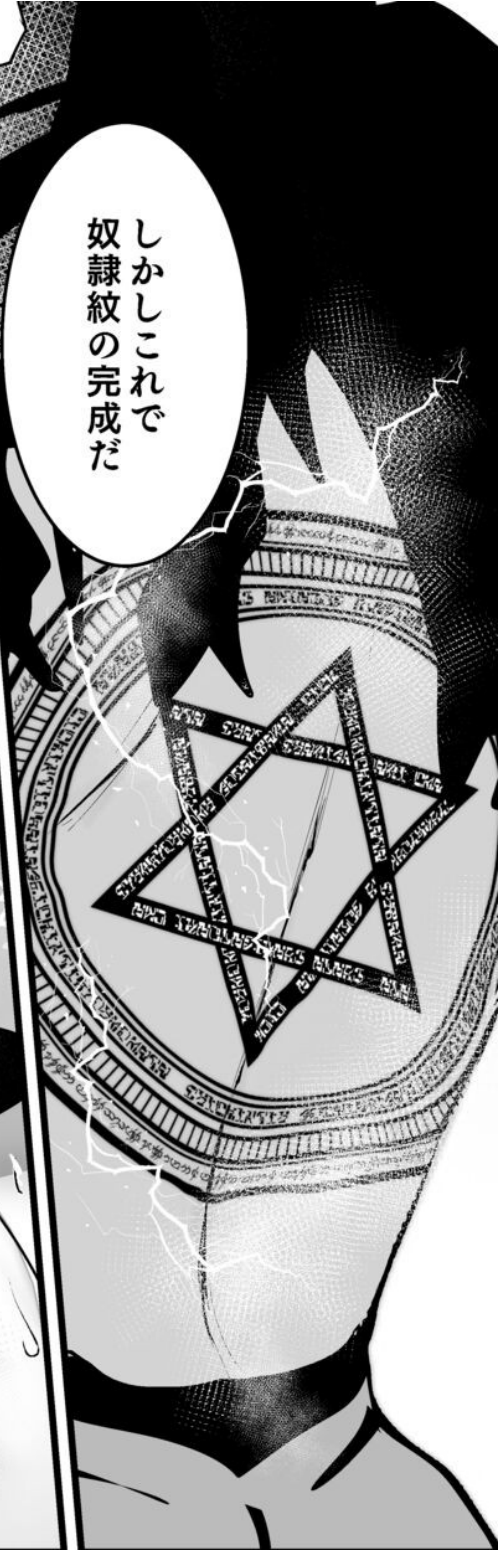
あア…ッ!?!♡

主を受け入れた
気分は?

どうだね

ははっ
少し混乱して
いるようだ

しかしこれで
奴隷紋の完成だ



嘘だ

そんなの…
ありえない

さあ
命令だ

あーん

うん

次は自分で
動きなさい

はい

ご主人様…♡

私がこの男を
主人と認識している
なんて—!!

ありえない

こんなに
憎いのにも

殺すッ

気持ちいい♡

もっと♡
もっと♡

絶対殺すッ

絶対……ッ♡





ふう〜…
少し
やりすぎたか？

大丈夫かね
ルルデイ？

神官を
呼んでやるから

しっかり
休みなさい

私の大事な
ルルデイよ



なんて
愚かで哀れで
愛おしい……♡

私の作り上げた
コレクシヨン
至高の勇者譚……!!





ああ：

ん：っ

もうじき
コレクションが
増えるかな？

っ♡

しっかり孕めよ
ルルディ

ふっ♡
ちゅ♡

はっ♡

あ♡

さあ、
もう一度……

はっ♡

あ♡

勇者オークション

発行日 2024/08/09

発行者 吉田Killy (killy.yoshida@gmail.com)

pixiv



twitter



無断転載・複写・転用・web上へのアップロードを禁止します。
この本は成人向け(R18)作品です。18歳未満の方の閲覧は固くお断りいたします。

Unauthorized reproduction, copying, reprinting, or uploading to the web is strictly prohibited.
This book is intended for adults and is strictly forbidden to those under 18 years old.



勇者 オークション

Comic Market 104

吉田Killy